

●一般演題

植込み型除細動器(ICD)における運転免許制限への取り組み

戸田中央総合病院臨床工学科

石田 雄作・久保田 涼・向笠 良宏

齊藤 圭哉・野尻 克人・齊藤 賢和

菅谷 大輔・内野 敬・君島 秀幸

竹中 創・上野 明彦・湯原 幹夫

内山 隆史

戸田中央総合病院心臓血管センター内科

1 現 状

植込み型除細動器(以下：ICD)は薬物コントロール不能な致死的不整脈に対して積極的に用いられている治療方法であり、近年、植込み件数は増加傾向にある。しかし、植込みを施行するにあたり種々の合併症を併発すること、ICD植込み後は身体的活動制限があることもあり、植込み前には医師によるインフォームドコンセント(以下：IC)が重要になっている。当院においては医師がICを術前に行っているが、説明内容が多岐にわたってしまうことで、患者によっては内容を忘れるなどの問題点が生じている。

2 当院における患者教育

当院では植込み前に医師より植込みの必要性、方法、危険性などのICを行っている。また、植込み後には家族同席のもとで看護師、臨床工学技士より患者教育を行っている。その際には当院で作成したデバイスチェックリスト(図1)を用いて説明を行うことで説明項目の統一化を図っている。しかし、運転免許申請に関しては患者自身に任せているため、自動車運転に不透明な部分が多くあった。

そこで、今回運転免許関連に関する調査を行ったので報告する。

3 方 法

平成29年9月に運転制限に関するステートメントが更新されたことを期に、ステートメント更新以前より当院でフォローしているICD植込み患者に対して、定期検査受診時に運転の有無、免許申請の有無を確認した。運転を行っている患者に対しては独自に作成したポスター(図2)を用いて再度説明を行った。

4 結 果

ステートメント更新以前より当院でフォローしているICD植込み患者70人のうち、平成29年9月から平成30年9月までの間に定期検査を受診した患者は62人であった。

そのうち、運転を行っていた患者は26人で、その中で免許申請をしている患者は12人(46%)であった(図3)。

5 考 察

植込み型デバイスには植え込んだ時点から日常生活において一定の活動制限を生じる。ICDにおいては運転制限が課せられ、それを守らなければ、法的に罰せられるというリスクも伴う。医療者側としてはそれに対する説明責任が問われることもある。

デバイス挿入患者チェックリスト

① 入院時チェック
患者氏名 : 善護記録テスト 11 ID : 0009202185

疾患名 : MRSA敗血症 入院日 : 衛日 :

a. 患者理解度チェック
患者の理解度 あり なし 家族等の同席の必要性 あり なし

b. 患者情報

生活様式 (ex) 分身の入院の多い人、料金の支払いができないなど
妻と義父と孫1人で同居している。輸液の持続期間は長い。
生活様式 (ex) 自宅附近の夜の有り難い歩道や歩道橋が、很多、自転車、車など
自宅距離、自宅周囲、自転車、車、バイク運転を運転する。
趣味 (ex) 腹筋運動、ジョギング(スポーツ・ヨガなど)や音楽(ハイク等)
なし
仕事 (ex) 運送関係の仕事や警備関係の多い職種かどうかなど
無職。以前、車の運転手をしていた(大型免許所持)。

1 weekチェック日 : 2018.11.24 説明日 : 2018.11.24

ICD	モード	DDDR	レート	BD
ON	MFR	OFF		

その他備考

② デバイス挿入後チェック
 → 患者もしくは家族に対して説明を行い、理解が得られた場合
 → 患者もしくは家族に対して説明を行い、理解が得られなかった場合。又は説明を行えなかった場合
 → 患者もしくは家族に対して説明の必要がない場合

☆ チェックは ○ or □ or × で記入

看護関連

項目	Check
1 新たに薬を飲んでいて	<input type="checkbox"/>
2 新たな薬を飲んでいた場合	<input type="checkbox"/>
3 人柄に関して	<input type="checkbox"/>

日常生活関連

項目	Check
1 お酒を飲んでいて	<input type="checkbox"/>
2 お酒を飲んでいた場合	<input type="checkbox"/>
3 お酒を飲んでいた場合	<input type="checkbox"/>
4 お酒を飲んでいた場合	<input type="checkbox"/>

デバイス関連

項目	Check
1 運転免許・不整脈について	<input type="checkbox"/>
2 デバイスの説明 (ベースマーク-説明書-wri)	<input type="checkbox"/>
3 本体・リード線の役割	<input type="checkbox"/>
4 電池寿命	<input type="checkbox"/>

看護モニタリング関連

項目	Check
1 運転免許証に対する回答及び記述	<input type="checkbox"/>
2 運転免許証の概要	<input type="checkbox"/>
3 セットアップ用	<input checked="" type="checkbox"/>
4 使用方法(運転免許)	<input type="checkbox"/>
5 コストについて	<input type="checkbox"/>

PMF外来関連

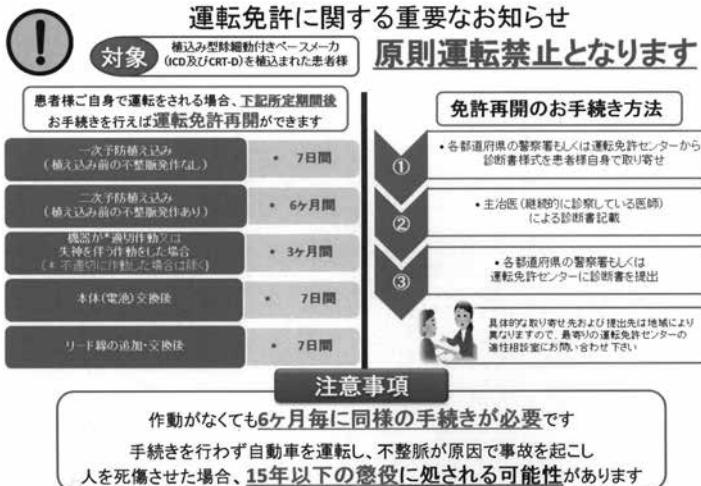
項目	Check
1 併存薬剤について	<input type="checkbox"/>
2 併存フローティングについて(治療開始-予報達成)	<input type="checkbox"/>
3 パースマーク	<input type="checkbox"/>

付属品・書類関連

項目	Check
1 単純負荷試験の結果及び記述	<input type="checkbox"/>
2 不整脈節拍の解説及び記述	<input type="checkbox"/>
3 ハンディックの結果及び記述	<input type="checkbox"/>
4 不整脈発作時に於ける回数及び記述	<input type="checkbox"/>
5 不整脈にてどの回数及び記述	<input type="checkbox"/>
6 不整脈にてどの回数及び記述	<input type="checkbox"/>
7 不整脈にてどの回数及び記述	<input type="checkbox"/>

心臓血管センター内科 錦庄工学科 作成 -
2018/3/15 依頼

図1 デバイスチェックリスト



本説明を受け資料を受け取りました 日付 _____ 氏名 _____ 2017年9月1日～ 日本不整脈心電図学会ガイドラインより

図2 説明用ポスター

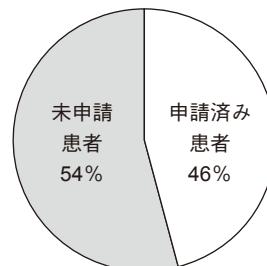


図3 免許申請の患者内訳

今回の調査で、医師が説明しているにもかかわらず、免許申請をせずに運転を続けている患者が多数見受けられた。患者からは、説明内容が多岐にわたり、説明されていても覚えられないというような意見も聞かれた。免許申請は一度行えばよいものではなく、継続的に申請をしなければいけないため、今後は術前の説明のみ

ではなく、外来受診時など定期的に声掛けをするなどの対策が必要であると考えられた。

結 語

ICD植込み患者に対しては、運転制限があることを繰り返し説明する必要がある。